



遊 道 楽 歩  
( 雑 感 )



粉飾決算など当たり前？

長野 修二





# 目次

粉飾決算など当たり前? .....	1
-------------------	---



## 粉飾決算など当たり前？

先日、あるメディアに「粉飾決算倒産が急増」という記事がでていました。

この記事を読んで思ったことは、中小企業では粉飾決算など当たり前という現実でしょうか。

私が在籍した中小企業では、だいたい粉飾決算をおこなっており、当然、資金繰りは厳しいところが多かったです。

なかには上場企業もありましたが、資金繰りが悪化すると経営者は余裕がなくなり、どこから運転資金を借りてくるかということに没頭します。

銀行は、このように資金繰りがつかない上場企業にははやい段階で見切りをつけていますから簡単に融資をしてくれることはありません。

それでも事業を続けることが命題である経営者はあらゆるところへ出向いて運転資金を確保しようとします。

あまり社員にみせようとしませんが、今この時間も資金を借るために走り回っている経営者が沢山いることでしょう。

一時過激な取り立てで有名になったノンバンクですが、たとえば商工ファンド、その後、SFCGに変更（経営破綻）などです。

主に事業者向けローン（事業者金融）や手形割引等をおこなう企業ですが、私が在籍した上場企業は、このような事業者向けローンで手形を割り引いてもらうことまでしていましたが、タイミングよく企業売却ができましたので銀行からの融資の返済や遅滞していた貸金などをすべて返済することができました。

この企業は非常に運がよかったケースでしょう。

その他の企業では、資金繰りに困り上場するという名目で取引先や従業員へ株をもたせるなどして資金を調達しましたが、それでも資金繰りは改善せず最終的に毎月取引先に支払う現金を一か月伸ばすことで当座の運転資金3億円を調達したケースがありました。

この企業は現在も事業をおこなっていますが、現状の事業環境をみているといずれ破綻するのではないかと、想像しています。

この企業でも経営者は自分で考えながら当たり前のように粉飾決算をおこなっていました。

私はすぐに首になりましたからその後の状態はよく知りませんが、残念ながら在籍した中小企業では、まともな経営をしているところはなかったといえます。

さらにこのような企業は手形取引をしていませんから銀行取引停止ということがありませんし、税金、消費税や社会保険料まで滞納しているのでたちが悪いです。

社員の賃金も踏み倒しています。

私はこのような企業の経営者へアドバイスしても改善する意思がないとわかれば去ります。

事実、去りました。

4か月後、経営破綻しあらゆるものを踏み倒して経営者は夜逃げしたそうです。

社員の賃金は、当然ですが未払いです。

上場企業の場合は決算内容を開示しますからある程度経営状態がわかりますが、中小企業の場合は内部の社員以外経営状態はなかなかわかりません。

もっとも、平社員はほとんど経営状態がわかりませんが、ひとたび経営状態が平社員や取引先にもれると、その後の対応は信用、信頼問題となり大変です。

私が在籍した中小企業は真面目に仕事をすれば、当座の資金繰りはキャッシュフローのなかで十分可能でした。

経営者の多くは身の程を忘れた事業拡大を進めたり、経営者自身の見栄のため事業の現実を直視しません。

このような経営者は社員を駒として使います。

それでも私は改善を試みるのですが、見栄にとらわれた経営者は言うことを聞きませんし、現実には価値がある日常的なビジネスをみようとしません。

そのことで事業は、さらに悪化していきます。

中小企業こそ足元をみて着実に事業をすることが一番なのです。

借入金でしか事業がまわらないということは、そもそもビジネスではありません。

他人に迷惑をかける前にはやく撤退することです。

中小企業ほど現実におこなっているビジネスとそれを数値化したただしい決算をおこなうことでビジネスを堅実に成長させていくことができます。

中小企業でも人材は十分そろっています。

足りないのは、ビジネスの全般の知るという教育と実際にビジネスを堅実に発展させるため、少し工夫を凝らした挑戦をするという日々の行動だけかもわかりません。

私は短い期間でも在籍した企業の社員への教育と少々工夫を凝らした日々の実践をしてきました。

当たり前ですが、人材は優秀なのですから確実に社員に変化が現れ、ビジネスの結果がでます。



---

粉飾決算など当たり前？

---

著 長野修二

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---